



群馬県市町村職員共済組合

ライフプランセミナーの必要性

群馬県市町村職員共済組合事務局長 山崎 博幸

当組合のライフプランセミナー

群馬県市町村職員共済組合におけるライフプランセミナーの歴史は、約30年前に始まり、当時の地方公務員等ライフプラン協会（今の地域社会ライフプラン協会）から講師をお招きし、50歳代を対象としたライフプラン研修会（生涯生活充実型）を開催してきました。それ以前は、年度末退職予定者説明会の中で協会からテキストを購入し、それを会議資料として配布するのみでした。

平成29年からは、参加者より「もっと早い時期に受けたかった」等の意見があつたため、対象者を「45歳未満」と「45歳以上」に分けて開催しています。

「45歳未満」のライフプランセミナー

現在の「45歳未満」のライフプランセミナーは、若年層組合員向け生活充実プログラムとして、45歳未満の組合員を対象としています。

日頃、上司と部下の調整役として公務を担い、プライベートにおいても、結婚、出産、育児、教育、住宅取得等と、ライフスタイルが大きく変化する時期にあります。支出面では、養育費、教育費、住宅ローンなど多方面に渡り、資産形成に資金が回らない時期もあります。そんな時期であるからこそ、ライフプランをしっかりと立て、将来に必要となる資金の準備や貯蓄、税制対策など幅広い知識を早い時期から参考してもらうことを目的にしています。

セミナーの後半は、共済組合の福利厚生の上手な活用方法を学ぶ2部構成となっております。

「45歳以上」のライフプランセミナー

現在の「45歳以上」のライフプランセミナーは、中高年層組合員向け退職準備プログラムとして、45歳以上の組合員を対象としています。

日頃、組織の管理職として中核を担い、5年後、10年

後に、役職定年や定年を迎える時期であります。定年は65歳まで延長されましたが、60歳役職定年後の働き方や65歳の定年後の過ごし方など、第2の人生を迎えるにあたり、ライフプランを作成し、豊かな老後が迎えられるよう、資産運用や心構えなどを学んでもらうことを目的にしております。

セミナーの後半は、「健康設計 脳トレ＆簡単ストレッチで健康づくり」と題し、健康づくりやストレッチを学ぶ2部構成となっております。

ライフプランセミナーの必要性

ライフプランは、私たち一人ひとりが自分らしい人生を安心して歩むために欠かせないものと考えます。

将来への不安は、先が見えないことから生まれますが、ライフプランを立てることで、収入・支出・貯蓄を具体的に数字で確認できれば、安心感が生まれます。「いつ何をしたいのか」を明確にすることで、目標に向かって行動しやすくなり、夢や希望を「実現可能な目標」に変えられるのが、ライフプランのメリットであります。

地域社会ライフプラン協会には、金融機関等で培った専門知識を持った優秀な講師が数多く在籍していますので、長寿社会に対応した資金計画や人生設計を、分かりやすく学ぶことができるのです。

協会のホームページから、ライフプラン計画表がダウンロードでき、実際に作成することも可能です。

「備えあれば憂いなし」、協会と共にセミナーを開催してきて良かったとつくづく感じています。

セミナーの参加者より「参加して良かった」等の声を数多くいただいており、参加した自治体で働く職員もライフプランを作成することで、安心して公務に専念できることにつながる相乗効果も期待できます。

これらのことから、ライフプランセミナーの必要性は、今後、ますます高まるものと考える次第であります。